

ネオマフォーム

中・大規模木造建築向けカタログ

中・大規模木造建築物に理想の断熱材のご提案

公共施設

医療・
福祉施設

教育施設

商業施設



AsahiKASEI
旭化成建材

中・大規模木造建築物(非住宅)にもネオマフォーム!!

木材の持つ高い意匠性、素材がもたらす居住性の向上、SDGS等に対応する環境への配慮、

国産木材を積極活用するというトレンドの高まり等を反映して、木造で計画される中・大規模建築物は増加しています。

旭化成建材のネオマフォームはそこで要求される

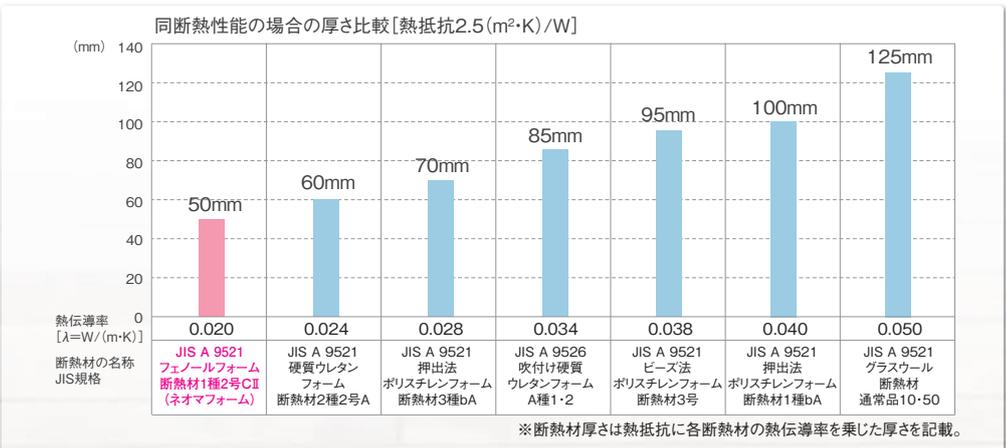
断熱性能、環境性、経済性、耐燃焼性能、それぞれに解決策を与える理想の断熱材です。



ネオマフォームの特徴

高い断熱性能

ネオマフォームの熱伝導率は0.020 [W/m・k]。最高レベルの断熱性能により、壁厚等を最小限に抑え設計自由度を増加させます。また、高断熱仕様住宅なみの外皮性能設計や、建築物省エネルギー性能表示制度(BELS表示)での高いランクを目指すご計画において特に効果的な断熱材です。



長期断熱性能

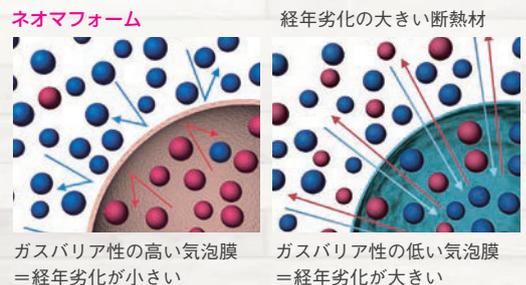
ネオマフォームは25年間の平均でλ=0.020[W/m・k]。(50mm品のJIS A1486に基づく試験結果) 何十年も利用する建築物に使う断熱材だから、ネオマフォームは長期断熱性能にもこだわっています。

経年変化期間における平均熱伝導率の推定結果 (厚さ50mmの製品の場合)

経年変化期間(年)	平均熱伝導率 [W/(m・K)]
1	0.01908
5	0.01956
10	0.01989
15	0.02012
20	0.02031
25	0.02047

(一財)建材試験センターでの試験結果

空気と気泡内の発泡ガスの置換イメージ図 ● 空気 ● 発泡ガス



高い断熱性能

耐燃焼性能&
防耐火構造対応

長期断熱性能

環境性能

環境性能

ネオマフォームは地球環境に理想的なノンフロンの断熱材であり、グリーン購入法適合商品です。

また、旭化成は高性能発泡プラスチック断熱材「ネオマフォーム」、「ネオマゼウス」の開発が、環境負荷低減に顕著な効果を有し我が国の化学技術の進歩と産業の発展に大きく寄与するものとして、その功績が評価され第52回日化協技術賞環境技術賞を受賞しました。



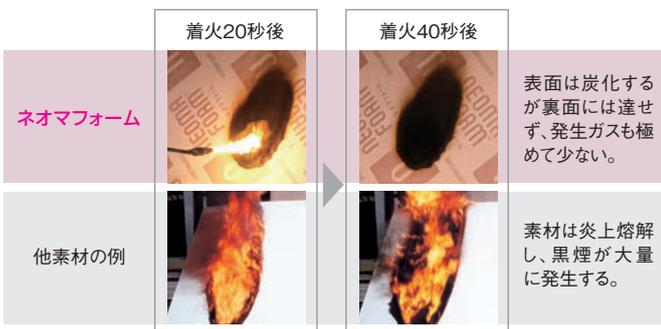
平成21年度全国発明表彰 (主催: 社団法人発明協会) の「発明賞」を受賞

耐燃焼性&防耐火構造対応

耐燃焼性

ネオマフォームは単体として、他のプラスチック系断熱材と比べて、優れた耐燃焼性能を保持しています。トーチバーナーを用いた実験でも炭化するだけで燃え上がることはなく、爆燃等には至りません。施工時の安全性にも大きく貢献致します。

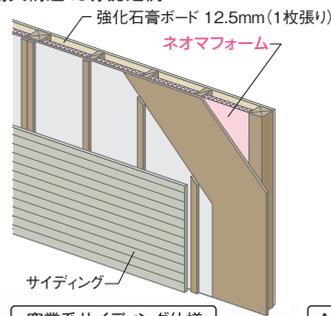
燃焼性比較実験 (当社にて各断熱材厚み25ミリ品に1分間トーチバーナーで放射実験を実施)



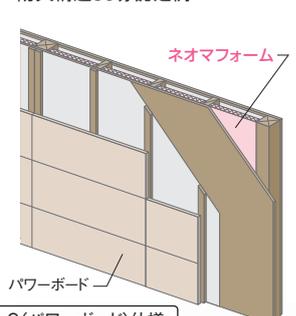
防耐火構造対応 ※詳細については、認定書をご参照ください。

中・大規模木造建築物を計画する場合、建設地、階数、規模、用途により、耐火建築物、準耐火建築物とするケースが多くなります。ネオマフォームは外壁部位において、外装材、内装石膏ボードとの組合せで準耐火構造認定を取得しています。また、幅広い外装材仕様に対応した防火認定も取得しています。

準耐火構造45分認定例



防火構造30分認定例



防火・準防火地域による建築制限

地域	防火地域		準防火地域		
	100㎡以下	100㎡超	500㎡以下	500㎡超 1,500㎡以下	1,500㎡超
延べ床面積	3階建以上 耐火建築物	耐火建築物	4階建以上 耐火建築物	4階建以上 耐火建築物	耐火建築物
階数	2階建以下 耐火建築物 または 準耐火建築物		3階建 耐火建築物・ 準耐火建築物	3階建以下 耐火建築物 または 準耐火建築物	

●その他の地域の場合 法25条:大規模の木造建築物の屋根 法22条:防火性能の飛び火性能
※木造建築物等での外壁・軒裏の延焼のおそれのある部分は防火構造とする



建築用途による建築制限

用途	必要とする構造	耐火建築物		耐火建築物又は準耐火建築物
		当該用途に供する階	当該用途に供する部分の床面積の合計	当該用途に供する部分の床面積の合計
1	劇場、映画館、演芸場	主階が1階にないもの	客席床面積 $\geq 200\text{m}^2$ (屋外観覧席 $\geq 1,000\text{m}^2$)	—
		3階以上の階		
		3階以上の階		
2	病院、診療所 (患者の収容施設があるもの)、 ホテル、旅館、下宿、共同住宅・寄宿舎、 児童福祉施設など	3階以上の階	—	2階以上の部分 $\geq 300\text{m}^2$ (病院・診療所においては 2階に患者の収容施設がある場合)
		3階以上の階	—	$\geq 2,000\text{m}^2$
3	学校、体育館、博物館、美術館、図書館、ボウリング場、 スキー場、スケート場、水泳場、スポーツ練習場	3階以上の階	—	$\geq 2,000\text{m}^2$
4	百貨店、マーケット、展示場、キャバレー、カフェー、 ナイトクラブ、バー、ダンスホール、遊技場、 公衆浴場、待合、料理店、飲食店、物販店舗 (>10㎡)	3階以上の階	$\geq 3,000\text{m}^2$	2階以上の部分 $\geq 500\text{m}^2$
5	倉庫	—	3階以上の部分 $\geq 200\text{m}^2$	$\geq 1,500\text{m}^2$
6	自動車車庫、自動車修理工場、映画スタジオ、 テレビスタジオ	3階以上の階	—	$\geq 150\text{m}^2$ (ただし、主要構造部を不燃構造 とした準耐火建築物とする)

※大規模木造構造物に関しては、階数、高さ、延床面積等によって、別途制限がかかる場合がありますのでご注意ください。

建築部位別 ネオマフォームの活用

建物全体の断熱性能を検討するにあたり、建築物の部位別に断熱仕様を検討することが必要になります。主要部位である外装・外壁部、屋根部、床・基礎部それぞれにおけるネオマフォームの採用をご提案します。

外装・外壁部

木造建築における様々な外装材仕様、構造・下地仕様、断熱材取付工法への組み合わせで活用できるのがネオマフォームです。窯業系サイディング、金属外装、木板、など多様な外壁仕様向けに対応しております。準耐火建築物向けの外壁仕様、外壁防火構造が必要なご計画、それぞれで採用が可能です。

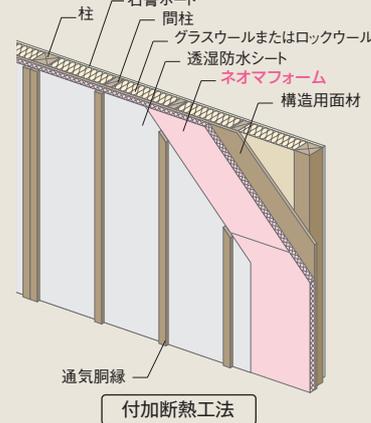
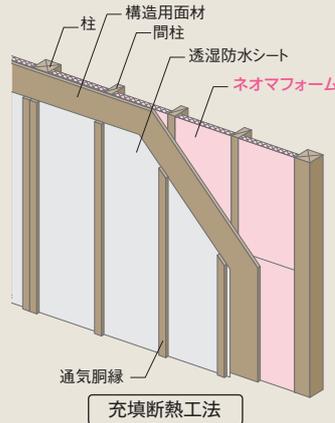
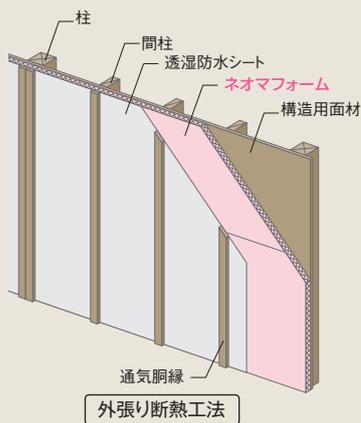


充填断熱工法



外張り断熱工法

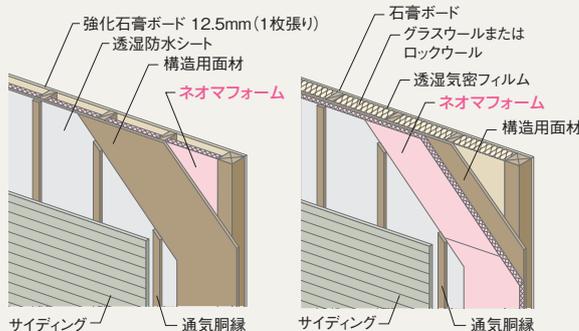
木構造・下地仕様とネオマフォーム取付工法



各種外壁認定例 代表的な認定の概要を示したものです。

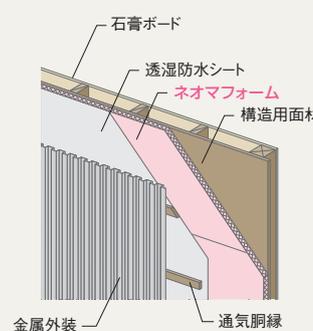
準耐火構造45分認定

窯業系サイディング+ネオマフォーム充填・外張り・付加断熱



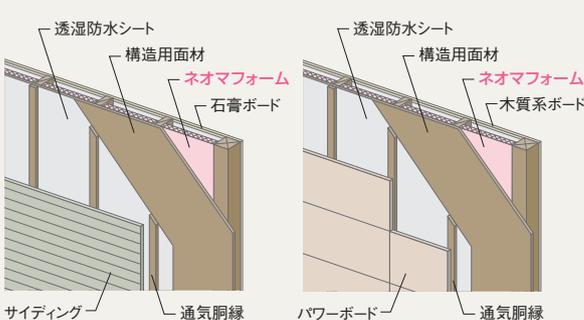
金属外装 防火構造30分認定

金属外装+ネオマフォーム 外張り・付加断熱



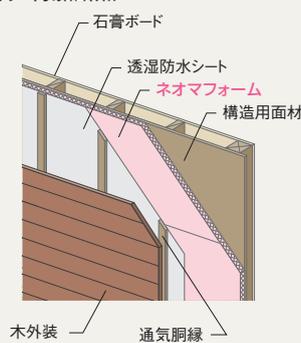
充填断熱 防火構造30分認定

窯業系サイディング・パワーボード+ネオマフォーム 充填



木外装 防火構造30分認定 **NEW**

木外装+ネオマフォーム 外張り・付加断熱

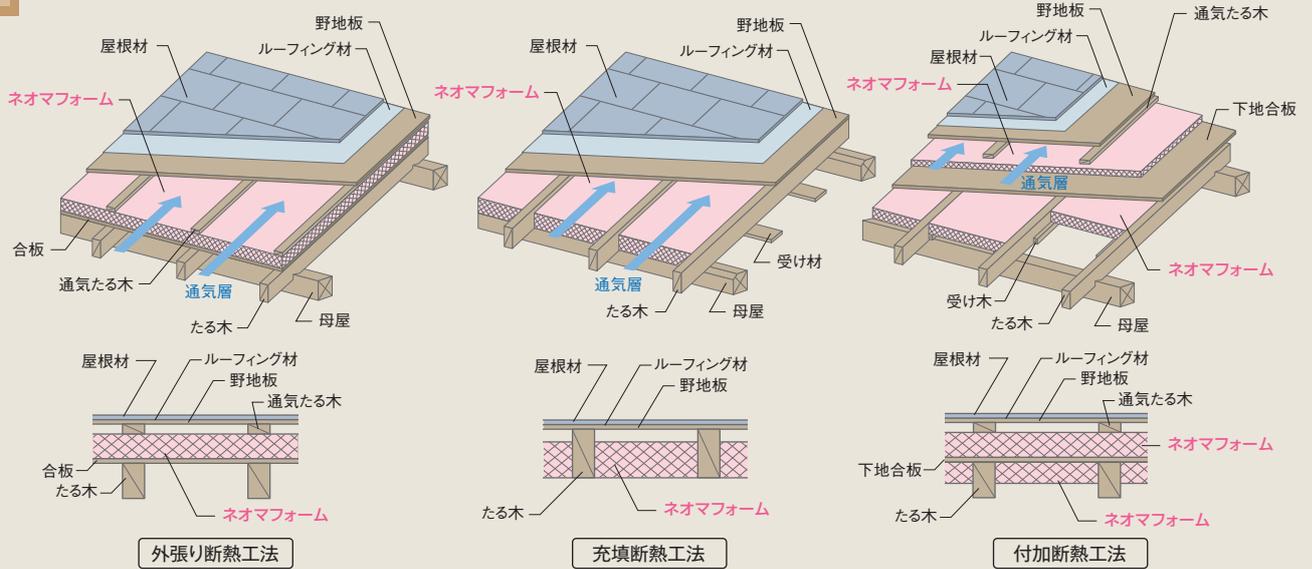


※上記の認定は、一部の認定の概要を示したものです。認定の構成に関しては耐火構造認定一覧(P6)を、詳細については、認定書を参照ください。また、他にも様々な認定を取得しておりますので、最新の認定一覧については、HPを参照ください。

⚠️ このカタログは、ネオマフォームを使った断熱仕様の一部を紹介したものです。
 ⚠️ ご検討にあたりまして、建築物の各部位に防耐火上の規制がある場合は、当該部位の仕様と弊社ネオマフォームを用いた防耐火認定との適合をご確認いただきますようお願いいたします。

屋根部

建物全体の断熱性能に大きな影響を与えるのが、屋根部の断熱仕様です。
 目標とする断熱性能、屋根部の構造仕様、建物の高さ制限など、考慮すべき設計要件に柔軟な対応が可能です。



外張り断熱工法



充填断熱工法



※気密性の確保のために、以下の措置を講じてください。
 ●外張り断熱工法、付加断熱工法：
 下地合板またはネオマフォームの継ぎ目に気密テープ貼りしてください。
 ●充填断熱工法：
 ネオマフォーム相互及びたる木との継ぎ目に気密テープまたはシーリング等で処理するかネオマフォームの室内側に防湿気密フィルムを張ってください。

▶(参考)木造住宅の屋根充填断熱による厚さ比較

木造住宅の屋根充填断熱の基準適合厚さ(熱抵抗R値=4.6)*1の比較
 ネオマフォームの高断熱性能で、木造住宅でのH28年省エネ基準・断熱性能等級4に最薄で適合可能です。

*1 H28省エネルギー基準・断熱等性能等級4(住宅性能表示評価方法基準)の3~8地域における木造・枠組み工法の屋根の断熱材の熱抵抗の基準に適合する厚さ

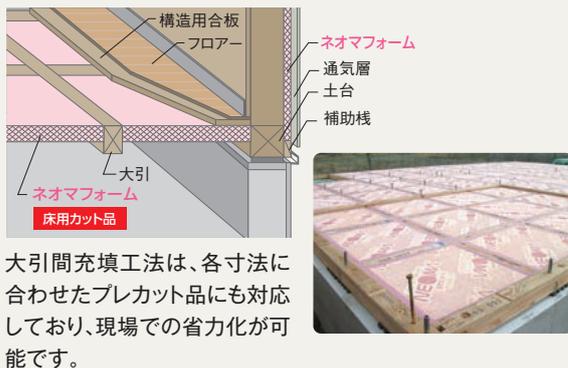


※本比較は、木造住宅の断熱性能等級4の厚さ比較例です。個々のご計画の断熱設計は、個別に実施する必要があります。

床・基礎部

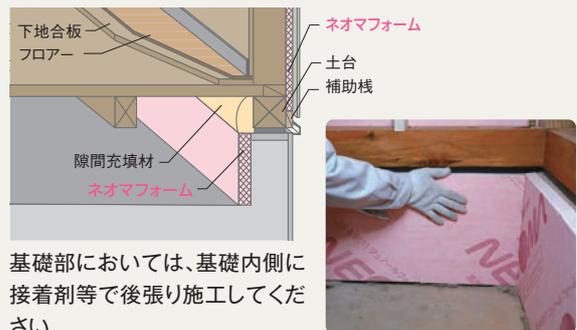
ネオマフォームの素材特性から床部での断熱材として採用が期待されます。
 基礎部においては、基礎内側の断熱として活用してください。

大引間充填断熱例



大引間充填工法は、各寸法に合わせたプレカット品にも対応しており、現場での省力化が可能です。

基礎断熱例



基礎部においては、基礎内側に接着剤等で後張り施工してください。

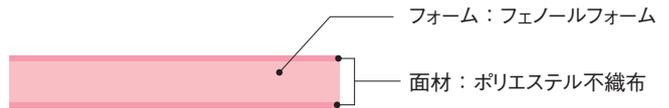
☆注意 ネオマフォームは基礎の外側からの施工には用いることができません。寒冷地では水平方向にも断熱材を施工することが必要となります。

■ ネオマフォーム基本データ

■ 種類

JIS A 9521 建築用断熱材
フェノールフォーム断熱材 1種2号CII F☆☆☆☆
JIS A 9511 発泡プラスチック保温材
A種フェノールフォーム保温板 1種2号 F☆☆☆☆

■ 構成



■ 基本物性比較

製品名及び断熱材の種類	ネオマフォーム	JIS A 9521 フェノールフォーム 断熱材 1種2号CII	JIS A 9521 押出法 ポリスチレンフォーム 断熱材3種bA	JIS A 9521 ビーズ法 ポリスチレンフォーム 断熱材3号	JIS A 9521 硬質 ウレタンフォーム 断熱材2種2号A
密度 (kg/m ³)	27 以上	25 以上	25 以上	20 以上	25 以上
熱伝導率 (W/(m・K))	0.020 以下	0.020 以下	0.028 以下	0.038 以下	0.024 以下
曲げ強さ (N/cm ²)	40 以上	15 以上	25 以上	18 以上	15 以上
圧縮強さ (N/cm ²)	15 以上	10 以上	20 以上	8 以上	8 以上
吸水量 (g/100cm ²)	1.7 以下	5.0 以下	0.01 以下	1.0 以下	3.0 以下
透湿係数25mm厚 (ng/(m ² ・s・Pa))	38 以下	60 以下	145 以下	250 以下	40 以下

ネオマフォームの物性値は、測定データを基にした一般的な値です。ただし熱伝導率は製品規格です。
ネオマフォームの物性値はJIS形式検査に用いる、厚さ25mmの製品の一般的な値です。
(試験方法・条件)JIS A 9521、JIS A 9511
ネオマフォーム以外の物性値は、「JIS A 9521 建築用断熱材」(2017)によります。

■ ネオマフォーム製品規格

1 3×6板、メーター板、3×10板

[JIS A 9521 フェノールフォーム断熱材1種2号CII、JIS A 9511 フェノールフォーム保温板1種2号C]

■ 優良断熱材 (EI) 認証制度について

「優良断熱材認証制度」は一般社団法人 日本建材・住宅設備産業協会が優れた品質管理のもとに安定した断熱性能を有する優良断熱材 (EI) を認証する制度です。
省エネ基準適合義務化の断熱性能の確認において、JISと並ぶ第三者認証制度として利用できます。



幅×長さ (mm)		910×1,820 (mm)	1,000×2,000 (mm)	910×3,030 (mm)	熱抵抗 [R値] (m ² ・K/W)
厚さ (mm)	枚/ケース	品番	品番	品番	
20	18	20-R6	—	20-R0	1.0
25	15	25-R6	—	25-R0	1.3
30	12	30-R6	—	30-R0	1.5
35	10	35-R6	35-RM	35-R0	1.8
40	10	40-R6	40-RM	40-R0	2.0
45	8	45-R6	45-RM	45-R0	2.3
50	8	50-R6	50-RM	50-R0	2.5
60	6	60-R6	—	60-R0	3.0
66	6	66-R6	—	66-R0	3.3
80	5	80-R6	—	—	4.0
90	4	90-R6	—	—	4.5
95	4	95-R6	—	—	4.8
100	4	100-R6	—	100-R0	5.0

2 ネオマフォーム屋根用カット品

[JIS A 9521 フェノールフォーム断熱材1種2号CII、JIS A 9511 フェノールフォーム保温板1種2号C] の幅/長さを切断加工した製品

構造	たる木ピッチ (mm)	品番	厚さ×幅×長さ (mm)	枚/ケース	熱抵抗 (m ² ・K/W)
軸組工法	455	45-CR	45×409×1,820	4	2.3
		50-CR	50×409×1,820	4	2.5
		60-CR	60×409×1,820	4	3.0
		80-CR	80×409×1,820	4	4.0
		95-CR	95×409×1,820	4	4.8
		100-CR	100×409×1,820	4	5.0
枠組壁工法	455	45-CA	45×415×1,820	4	2.3
		50-CA	50×415×1,820	4	2.5
		60-CA	60×415×1,820	4	3.0
		80-CA	80×415×1,820	4	4.0
		95-CA	95×415×1,820	4	4.8
		100-CA	100×415×1,820	4	5.0

3 ネオマフォーム床用カット品

[JIS A 9521 フェノールフォーム断熱材1種2号CII、JIS A 9511 フェノールフォーム保温板1種2号C] の幅/長さを切断加工した製品

工法	根太(大引)ピッチ (mm)	品番	厚さ×幅×長さ (mm)	枚/ケース	熱抵抗 [(m ² ・K)/W]
大引間充填 (ネダレス)	つなぎ材あり	45-W1	45×804×864	8	2.3
		66-W1	66×804×864	4	3.3
		90-W1	90×804×864	4	4.5
		45-W2	45×819×819	8	2.3
		66-W2	66×819×819	4	3.3
		90-W2	90×819×819	4	4.5
		45-W3	45×819×864	8	2.3
		66-W3	66×819×864	4	3.3
		90-W3	90×819×864	4	4.5
		40-W4	40×804×1,820	4	2.0
	つなぎ材なし	45-W4	45×804×1,820	4	2.3
		66-W4	66×804×1,820	4	3.3
		90-W4	90×804×1,820	2	4.5
		40-W5	40×819×1,820	4	2.0
		45-W5	45×819×1,820	4	2.3
		66-W5	66×819×1,820	4	3.3
		90-W5	90×819×1,820	2	4.5

の規格は常備在庫品です。それ以外は受注生産品のため納期がかかる場合がありますので、事前にご相談ください。

ネオマフォームのフリーカット品・フルプレカット品・フリープレカット品の規格および品番については「neoma 規格表」をご参照ください。
上記以外のサイズについては、別途、お問い合わせください。

■ ネオマフォーム外壁関連防耐火構造認定一覧

下記、認定のご使用につきましては、ご使用者様にて認定内容を十分ご確認の上、遵守いただきますようお願い致します。また、認定内容には、弊社断熱材以外の建築資材が用いられていますが、その使用にあたりましては、当該建築資材メーカーの仕様にてお取り扱いください。防耐火認定書の構造内容にしましては、当該認定における性能を確保する目的で構成されたものです。実際の建物の設計施工にあたっては認定の要件に加え、別途、設計施工上の配慮が必要になる場合がありますのでご注意ください。下記以外の認定も取得しています。また、使用できる外装材・構造用面材・内装材などには制限がありますので、必ず弊社ホームページにてそれぞれの認定内容の詳細をご確認ください。

■ ネオマフォーム外張り断熱（防火構造30分）

認定番号	外装材	構造用面材	構造	充填断熱材	認定内装仕様				
PC030BE-0132	窯業系サイディング 12mm以上釘留・金具留	あり または なし	軸組	なし	石膏ボード9.5mm以上				
PC030BE-0130		あり	枠組		石膏ボード9.5mm以上				
PC030BE-2200	窯業系サイディング 14mm以上釘留・金具留	木質系ボード	軸組	なし	内装制限なし				
PC030BE-2201		セメント板							
PC030BE-2202		火山性ガラス質複層板							
PC030BE-3038		なし							
PC030BE-3039		木質系ボード							
PC030BE-3040		セメント板							
PC030BE-3041		火山性ガラス質複層板							
PC030BE-3042		石膏ボード							
PC030BE-3047		木質系ボード							
PC030BE-3048		セメント板							
PC030BE-3049	火山性ガラス質複層板	枠組	なし	石膏ボード9.5mm以上					
PC030BE-3050	石膏ボード								
PC030BE-0076-1(1)	ALC薄型パネル	なし	軸組	なし	内装制限なし				
PC030BE-0076-1(2)		あり	枠組		内装制限なし				
PC030BE-3944(1)	軽量セメントモルタル	なし	軸組	なし	石膏ボード9.5mm以上				
PC030BE-0497-1(1)		外装下張り材なし							
PC030BE-0497-1(2)		外装下張り材あり							
PC030BE-0497-1(3)		外装下張り材なし							
PC030BE-0497-1(4)		外装下張り材あり							
PC030BE-0499-1(1)		外装下張り材なし							
PC030BE-0499-1(2)		外装下張り材あり							
PC030BE-3752(1)		鋼板				あり	軸組	なし	石膏ボード12.5mm以上
PC030BE-3752(2)		0.35mm以上 差込み式・重ね式・ハゼ締式							
PC030BE-2357		鋼板 0.4mm以上 差込み式				木質系ボード	枠組	なし	石膏ボード12.5mm以上
PC030BE-2358	セメント板								
PC030BE-2359	石膏ボード								
PC030BE-2360	火山性ガラス質複層板								
PC030BE-3846-1(1)	木板	下張材なし	軸組	なし	石膏ボード12.5mm以上				
PC030BE-3846-1(2)		下張材あり							

■ ネオマフォーム外張り断熱（準耐火構造45分）

認定番号	外装材	構造用面材	構造	充填断熱材	認定内装仕様	
QF045BE-9141	窯業系サイディング 12mm以上釘留	なし	軸組	なし	石膏ボード12+12mm以上	
QF045BE-0123	窯業系サイディング 12mm以上釘留・金具留	あり	枠組		強化石膏ボード12.5mm以上	
QF045BE-0863	窯業系サイディング 15mm以上金具留	木質系ボード	軸組		なし	石膏ボード9+12mm以上
QF045BE-0864		セメント板				
QF045BE-0865		火山性ガラス質複層板				
QF045BE-0867		石膏ボード				
QF045BE-9142	ALC薄型パネル	なし	軸組		なし	石膏ボード15mm以上
QF045BE-0171		あり	枠組			

■ ネオマフォーム充填断熱（防火構造30分）

認定番号	外装材	構造用面材	構造	充填断熱材	認定内装仕様
PC030BE-0132	窯業系サイディング 12mm以上釘留・金具留	あり または なし	軸組	ネオマフォーム	石膏ボード9.5mm以上
PC030BE-0130		あり	枠組		
PC030BE-3668(1)	鋼板	なし	軸組	ネオマフォーム	石膏ボード12.5mm以上
PC030BE-3668(2)	0.35mm以上 差込み式・重ね式	あり			

■ ネオマフォーム付加断熱【外張り充填併用断熱】（防火構造30分）

認定番号	外装材	構造用面材	構造	充填断熱材	認定内装仕様			
PC030BE-3033	窯業系サイディング 15mm以上金具留	なし	軸組	グラスウールまたはロックウール	石膏ボード9.5mm以上			
PC030BE-3034		木質系ボード						
PC030BE-3035		セメント板						
PC030BE-3036		火山性ガラス質複層板						
PC030BE-3037		石膏ボード						
PC030BE-3043		木質系ボード				枠組	グラスウールまたはロックウール	石膏ボード12.5mm以上
PC030BE-3044		セメント板						
PC030BE-3045		火山性ガラス質複層板						
PC030BE-3046		石膏ボード						
PC030BE-3752(3)		鋼板				外装下張り材なし	あり	軸組
PC030BE-3752(4)	外装下張り材あり							
PC030BE-2361	鋼板 0.4mm以上 差込み式	木質系ボード	枠組	グラスウールまたはロックウール	石膏ボード12.5mm以上			
PC030BE-2362		セメント板						
PC030BE-2363		石膏ボード						
PC030BE-2364		火山性ガラス質複層板						
PC030BE-0497-1(5)	軽量セメントモルタル	外装下張り材なし	なし	軸組	グラスウールまたはロックウール			
PC030BE-0497-1(6)						外装下張り材あり		
PC030BE-3846-1(3)	木板	なし	あり	軸組	グラスウールまたはロックウール			
PC030BE-3846-1(4)						外装下張り材あり		

■ ネオマフォーム付加断熱【外張り充填併用断熱】（準耐火構造45分）

認定番号	外装材	構造用面材	構造	充填断熱材	認定内装仕様
QF045BE-0868	窯業系サイディング 15mm以上金具留	木質系ボード	軸組	グラスウールまたはロックウール	石膏ボード9+12mm以上
QF045BE-0869		セメント板			
QF045BE-0870		火山性ガラス質複層板			
QF045BE-0871		石膏ボード			
QF045BE-0123	窯業系サイディング 12mm以上釘留・金具留	あり	枠組	グラスウールまたはロックウール	強化石膏ボード12.5mm以上

■ネオマフォーム参考仕様提案

中・大規模木造建築における建物の断熱材仕様を決定する目安の一例として、木造住宅の断熱等級4での必要厚さを参考に示します。

☆注意 参考としてのネオマフォーム厚さ提示です。個々のご計画の断熱設計は個別に実施する必要があります。

■断熱等性能等級4

(平成28年省エネルギー基準、住宅部分の外壁・窓等を通しての熱の損失の防止に関する基準及び一次エネルギー消費に関する基準)「住宅に係るエネルギーの使用の合理化に関する設計、施工及び維持保全の指針(附則)」の木造住宅(軸組工法・枠組壁工法)における断熱材の熱抵抗の基準値により算出した厚さ。この基準による場合は、開口部比率の規定への適合が必要です。

部位	充填工法(軸組)						充填工法(枠組)						外張り工法(軸組・枠組)						
	1~2地域		3地域		4~8 ^{※3} 地域		1~2地域		3地域		4~8 ^{※3} 地域		1~2地域		3地域		4~8 ^{※3} 地域		
	R値	厚さ	R値	厚さ	R値	厚さ	R値	厚さ	R値	厚さ	R値	厚さ	R値	厚さ	R値	厚さ	R値	厚さ	
屋根	6.6	132	4.6	95	4.6	95	6.6	132	4.6	95	4.6	95	5.7	116	4.0	80	4.0	80	
天井	5.7	116	4.0	80	4.0	80	5.7	116	4.0	80	4.0	80	5.7	116	4.0	80	4.0	80	
壁	3.3	66	2.2	45	2.2	45	3.6	75	2.3	50	2.3	50	2.9	60	1.7	35	1.7	35	
床 ^{※1}	A	5.2	105	5.2	105	3.3	66	4.2	85	4.2	85	3.1	66	3.8	80	3.8	80	2.5	50
	B	3.3	66	3.3	66	2.2	45	3.1	66	3.1	66	2.0	40	—	—	—	—	—	—
土間床等 ^{※2} の 外周部分の基礎	A	3.5	70	3.5	70	1.7	35	3.5	70	3.5	70	1.7	35	3.5	70	3.5	70	1.7	35
	B	1.2	25	1.2	25	0.5	20	1.2	25	1.2	25	0.5	20	1.2	25	1.2	25	0.5	20

※1 床A:外気に接する部分、床B:その他の部分(床裏のある1階床) ※2 土間床等の外周部分 A:外気に接する部分、B:その他の部分。

※3 8地域の基準は屋根又は天井のみ

注意:上記の表は2017年4月現在のものです。

単位 R値:m²・K/W 厚さ:mm 断熱性能区分(熱損失係数Q値):W/(m²・K) 開口部U値:W/(m²・K)

[参考] d(断熱材の厚さ)[m]=R(熱抵抗)[m²・K/W]×λ(熱伝導率)[W/(m・K)]として表します。熱抵抗とは、熱の伝わりにくさを表す値です。

▲ネオマフォーム取扱注意事項

①使用環境に関する注意

- 常時、水分に接するような使用(基礎の外側・土中・水蒸気が多量に発生する環境等)は避けてください。
- 常時高温(100℃以上)で使用した場合は、熱伝導率等の物性の低下をきたします。

②保管・運搬時に関する注意

- 保管には直射日光のあたるところ・水分の接する場所は避けてください。
- 保管は養生シート等で覆い、ロープ掛け等の飛散防止処置を行ってください。
- 鋭角な器物との衝突や角当ては、損傷の原因になりますので避けてください。

③施工時、作業時の注意

- 局部荷重や衝撃により割れることがありますので、施工時には下地の無い箇所には乗らないようにしてください。
- 強風下での施工は風にあおられやすいので行わないでください。

④粉塵注意

- 切断時には粉塵が発生しますので、切断器具には集塵装置を設けてください。また、作業者は正規の作業服を着用の上、防塵マスク・防護メガネ等の使用をお願いします。
- 狭い場所で多量の切断作業を行う場合は、十分な外気の導入を行い粉塵量を低下させてください。

- ネオマフォームの粉塵には健康上の有害性は認められていませんが、目に入った場合はこすらないで流水で洗浄してください。また、吸引した場合はうがい等を行い粉塵を洗い出してください。

⑤火気注意

- ネオマフォームの基材は炎をあてると炭化する性質があります。輸送・保管・施工にあたっては、火気にご注意ください。特に、ネオマフォームの切断等で生じた粉塵には火が移りやすくなりますのでご注意ください。(基材の酸素指数:28以上)
- 燃やした際にアンモニア臭が発生しますが、人体に有害なレベルの量ではありません。

⑥変色注意

- ネオマフォームは紫外線により変色しますので、保管中や施工中は、養生するなど配慮してください。なお、変色による著しい性能低下は認められません。

⑦廃棄時の注意

- 廃棄する際は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき、適正に処理してください。
- 処理にあたり、ネオマフォームを圧縮・粉砕することは避けてください。

⑧その他

- ネオマフォームは白アリ等の昆虫および動物によって損傷を受けることがあります。栄養源や餌にはなりません。

上記注意事項は、通常の取扱いを対象にしたものです。特殊な取扱いをされる場合は用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご使用ください。また、記載内容は現時点の資料・データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。

〈免責事項〉

- ① 本カタログに記載した取扱い注意事項が行われず発生した不具合
- ② 設計者・施工業者等使用者の指示した仕様・施工方法に起因する不具合
- ③ 設計者・施工業者等使用者から支給された材料・部品に起因する不具合
- ④ 施工業者による施工・取扱いに起因する不具合
- ⑤ 建物の構造・下地の変形・老朽化や外部からの衝突等、弊社の製品以外の外的要因により発生した不具合
- ⑥ 使用者もしくは第三者の故意または過失による不具合
- ⑦ 引き渡し後、構造・性能・仕様等の改変を行い、これに起因する不具合
- ⑧ 瑕疵を発見後すみやかに届けがされなかった場合
- ⑨ 開発・製造・販売時に通常予想される環境等の条件下以外における使用・保管・輸送等に起因する不具合
- ⑩ 地震・台風等の天災・火災等の特殊要因が原因により発生した不具合

[ネオマフォームの海外でのご使用に関して]

ネオマフォームは日本国内での使用を前提として設計・販売しています。

ネオマフォームを日本国外で使用する場合、製品仕様及使用国の法令、規格に適合しない可能性があります。

- ネオマフォームの詳細につきましては「ネオマフォーム住宅用断熱カタログ」を必ずご覧ください。
- ▲:このマークは設計上および安全上注意していただきたい箇所に表示してあります。
- 本カタログに掲載の商品は、設計・施工に関する専門の知識・技術が必要であり、所定の教育を受けた技術者・技能者による設計・施工を原則としております。ご採用(使用)にあたっては、これら専門業者の方にご依頼願います。
- ご使用にあたっては、関連法規および弊社が提供する技術資料に従って適切に設計・施工してください。
- 仕様・外観等は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
- 印刷物と実物とは多少外観が異なることがありますので、ご了承ください。
- このカタログの内容についてのお問い合わせは、弊社または代理店にお尋ねください。

旭化成建材株式会社 <https://www.asahikasei-kenzai.com/>

本社 〒101-8101 東京都千代田区神田神保町1-105(神保町三井ビルディング) TEL.03-3296-3531 FAX.03-3296-3535
 札幌 〒060-0002 札幌市中央区北二条西1丁目1(マルト札幌ビル) TEL.011-261-5443 FAX.011-261-0975
 仙台 〒980-0811 仙台市青葉区一番町3-1-1(仙台ファーストタワー) TEL.022-223-8171 FAX.022-211-9526
 名古屋 〒460-0003 名古屋市中区錦1-11-11(名古屋インターシティ) TEL.052-212-2251 FAX.052-212-2257
 大阪 〒530-8205 大阪市北区中之島3-3-23(中之島ダイビル) TEL.06-7636-3838 FAX.06-7636-3828
 福岡 〒810-0012 福岡市中央区白金1-20-3(紙与薬院ビル) TEL.092-526-2107 FAX.092-526-2492

●お問い合わせは